

一般社団法人「持続可能な国際教育推進のための研究コンソーシアム」

<2021 年度事業報告>

I. トヨタ財団助成事業

企画題目:外国人材を戦略的に受け入れるための社会基盤の創設

—「日本版 NQF」+「FCE 運用」=「日本社会が求める外国人材の招致」—

概要: 本企画は、外国人材の受け入れを戦略的に推進し、キャリア形成を支援するための社会基盤として、外国で得られた資格・学歴・職歴などを的確に評価する制度および枠組みを提案することを目的とする。

申請及び採択:2020 年 12 月申請 2021 年 3 月採択

助成期間・金額:2021 年～2023 年(3 年間)、年 300 万円、合計 900 万円

プロジェクトメンバー:

- ・ 芦沢真五(関西国際大学副学長 国際コミュニケーション学部教授)
- ・ 吉本圭一(滋慶医療科学大学院大学 教授)
- ・ 志田秀史((一財)滋慶教育科学研究所職業人教育研究センター)
- ・ 毛受敏浩((公財)日本国際交流センター執行理事)
- ・ 太田浩(一橋大学 教授)
- ・ 中崎孝一(公益財団法人 未来工学研究所 主席研究員)
- ・ 白石勝己(公益財団法人アジア学生文化協会 理事長)
- ・ 宍戸健一(JICA 上級審議役)
- ・ 鈴木崇弘(城西国際大学 特任教授)
- ・ 松本雅美(ムンドデアレグリア(日系ブラジル・ペルー人学校)校長)
- ・ Bhupal Man SHRESTHA(エベレスト・インターナショナル・スクール 顧問理事(前理事長))
- ・ 渡部カンコロンゴ清花(NPO 法人 WELgee(ウエルジー))
- ・ 杉田昌平(弁護士法人 Global HR Strategy 代表社員弁護士)
- ・ 根橋玲子(明治大学情報コミュニケーション学部 教授)
- ・ 田中賢了(国民生活産業・消費者団体連合会 事務局長)
- ・ 松野顕(国民生活産業・消費者団体連合会 事務局)
- ・ 関山健(京都大学総合生存学館 准教授)

①全体会合の実施

第 1 回全体会合 2021 年 4 月 26 日 11:00~12:40

第2回全体会合 2021年7月30日 13:00~14:30

第3回全体会合 2022年3月3日 13:30~15:00

②内部研究会の開催

プロジェクトのメンバーおよび外部より講師を招き、重要な4つのテーマについて内部研究会を実施した。

開催日	テーマ	講師
2021年9月10日	入管法・在留資格	杉田昌平氏 (弁護士法人 Global HR Strategy 代表社員弁護士)
2021年9月14日	NQF 研究会	吉本圭一氏(滋慶医療科学大学院大学 教授) 志田秀史氏(滋慶教育科学研究所職業人教育研究センター)
2021年9月24日	FCE・国際比較	白石勝己氏(公益財団法人アジア学生文化協会 理事長) 太田浩氏(一橋大学 教授)
2021年10月27日	国際法としての東京規約	久保田優香氏 (国際機関日本 ASEAN センター 事務総長補佐)

③オンライン会議システムを使った海外調査

各国の専門家に移民政策と就労にかかわる事情についてヒアリングを行うこととしている。

2021年度は以下の通りオンラインにて調査を実施した。

調査日	国	専門家
2021年10月18日	マレーシア	Associate Professor Dr. Abdul Latiff Ahmad, Director of UKM Global
2021年10月25日	フィリピン	Ron Bridget Vilog, Ph.D., De La Salle University

カナダ、オーストラリア調査の準備を行った。カナダについては外国学歴資格の認証機関である WES(World Education Service)カナダ支部との情報交換をおこなうとともに、外国人材資格認証にかかわる政府機関 CICIC(The Canadian Information Centre for International Credentials)および OUAC(Ontario Universities' Application Centre)にコンタクトし、正式なヒアリングの準備をおこなった。オーストラリアにおいては教育省国際部門

政策ディレクターである Jane Azurin 氏と連絡をとりあって、資料収集とヒアリングの準備をおこなった。

④外国人材ニーズ調査

実際に日本で就労している外国籍の方々に対して、海外での学修歴や資格を日本でのキャリア形成にどのように役立てる余地があるかなどについてアンケートおよびインタビュー調査を次年度以降開始するため、プロジェクトメンバーである渡部カンコロンゴ清花氏(NPO 法人 WELgee)、関山健氏(京都大学)を中心に調査票の作成など実施に向けた取り組みを進めた。

⑤各種会議等への参加

・日本工学教育協会 DX 委員会

日 時:10 月 8 日

内 容: 芦沢代表が証明書の電子化が外国人材および日本の中核人材のキャリア形成に有効であることについて講演した。

・工学教育デジタルライゼーションとデジタルトランスフォーメーション調査研究委員会 第 7 回委員会

内 容: 芦沢代表がデジタルトランスフォーメーションに関連する事例についての講演ならびにディスカッションを行った。

・東京規約締約国会議 (Third Session of the Tokyo Convention Committee in conjunction with the First Plenary of the Asia-Pacific Network of National Information Centres)

日 時:10 月 14 日

内 容: 芦沢代表代表は日本政府代表として参加し、海外の政府関係者と意見交換をした。

・トヨタ財団 特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」連続オンラインセミナー

日 時:10 月 19 日

内 容: トヨタ財団主催の以下のセミナーに代表者(芦沢)が登壇し、プロジェクトの概要を説明した。

テーマ:「外国人材受け入れの最前線～子ども、雇用、健康の現場から～」

スピーカー

・荻野紗由理(株式会社 B&M 代表取締役) 助成プロジェクト

・芦沢真五(東洋大学国際学部国際地域学科教授) 助成プロジェクト

聞き手

・土井佳彦(多文化共生リソースセンター東海代表理事) 助成プロジェクト

<参照>以下のトヨタ財団のサイトに報告が掲載されている。

<https://www.toyotafound.or.jp/special/2021/toyotafound/migration-seminar.html>

II. 学修歴証明書の電子化プロジェクト

2020年度より開始した学修歴証明デジタル化事業については、国際基督教大学(ICU)、芝浦工業大学(SIT)において、デジタル卒業証明・成績証明・在学証明の実装を、それぞれ、2022年4月、2022年3月に発行開始することができ、一定の成果を上げた。

2020年の本事業起ち上げ当初、RECSIEとしては、海外で同様のデジタル化事業を成功させたオーストラリア大学連盟のコンサルテーション子会社高等教育サービス社(HES)やカナダの事務局長協会(ARUCC)のようなIT事業運営組織にRECSIEを育てていくという気概をもって本デジタル化事業を進めてきた。しかし、そのために必要なガバナンス整備、体制整備、経営資源の確保等が、役員の能力・経験不足などにより進まず、結果として、2021年11月17日開催の臨時理事会において、2021年当初事業計画において実施が意図されたプログラム開発・提携開発等の業務を中止し、RECSIEとして、すでに実運用に入った上記両校のサービスの当面の継続のみを残し、学修歴証明デジタル化事業から撤退することを決定した。

III. 国際教育夏季研究大会の実施

(Summer Institute on International Education, Japan SIIEJ) 2021

テーマ：「国際教育交流の新しい展開と価値の創造」

“Envisioning International Education: Creating Space for Social Engagement, Diversity and Inclusion”

表記のテーマを掲げ、2021年7月17日(土)・8月26日(木)・27日(金)・10月23日(土)・11月20日(土)の日程で2つの特別セッション、基調講演、10のワークショップ、11のセッションを開催した。コロナ禍の影響ですべてオンライン Webinar 実施し、申込者は延べ1,521人であった。

主催：一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム(RECSIE)

共催：関西大学 IIGE (Institute for Innovative Global Education)、東洋大学

後援：文部科学省 MEXT、UMAP 国際事務局

特定非営利活動法人 JAFSA (国際教育交流協議会)

一般社団法人 大学行政管理学会

NPO 法人 学校経理研究会

大学マネジメント研究会、留学生教育学会 (JAISE)

BRIDGE Institute、The International Academic Forum (IAFOR)

科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金 国際共同研究強化 (B) 「国境を超える人材と資格・学歴認証の将来像」(2019～2022 年) (研究課題: 19KK0061)

科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金 国際共同研究強化 (B) 「多文化社会状況における多人数相互行為の解明に基づく多文化社会対応システムの構築」(2018～2022 年) (研究課題: 18KK0053)

科学研究費助成事業 基盤研究(A) 「アジア太平洋地域の学生交流促進に向けた実証的研究—UMAP の活性化をめざして—」(2017～2021 年) (研究課題: 17H01025)

科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「アジアの高等教育を牽引する『内なる国際化モデル』の開発」(2018～2021 年) (研究課題: 18H01026)

科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「日本企業の「内なる国際化」—日本人・外国人材の実践対話能力の研修プログラムの開発」(2018～2022 年) (研究課題: 18H00681)

科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「『大学の国際化』を担う専門教職員の養成メカニズムに関する国際比較研究」(2020～2023 年) (研究課題: 20H01695)

科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「ブレンデッド・ラーニングによるグローバル人材育成の理論的・実践的研究」(2021 年～) (研究課題: 21H00840)

賛 助: 公益財団法人 日本英語検定協会

賛同人: 矢口 悦子 (東洋大学 学長)

濱名 篤 (関西国際大学 学長 / 学校法人濱名山手学院 理事長)

藤田 高夫 (関西大学 副学長・グローバル化推進担当)

杉村 美紀 (上智大学 総合人間科学部教授)

星野 昌裕 (南山大学 副学長・グローバル化推進担当)

北村 友人 (東京大学大学院教育学研究科 教授)

渡邊 誠 (千葉大学 理事 教育・国際担当)

黒田 一雄（早稲田大学 大学院アジア太平洋研究科長・教授）

SIIEJ2021 特別セッション

実施日時:7月17日(土)

➤ **特別セッション①「ワクチン接種拡大と学生交流:英語圏諸国の留学生受入れ最新情報」**

講師陣:

- ・ 伊丹麻衣子 (EF (Education First) Japan)
- ・ Ben Bonjean (EF Sydney Campus, Director of Operations)
- ・ 上奥由和 (全研本社株式会社、一般財団法人海外留学推進協会、一般社団法人海外留学協議会 (JAOS)、一般社団法人 留学サービス審査機構 (J-CROSS))
- ・ 青島宏一郎 (サンフランシスコ州立大学)
- ・ ドハティー祥子 (ケルティックイングリッシュアカデミー、English UK)

モデレーター:

- ・ 松崎 久美 (名古屋芸術大学)

➤ **特別セッション②「留学の成果を最大化するための学生ネットワーク トビタテハウス6年の軌跡から学ぶ」**

講師陣:

- ・ 中川 瑛 (トビタテハウスの立ち上げに携わる)
- ・ 中山健太 (現トビタテハウス・プロジェクトディレクター)
- ・ 馬本寛子 (トビタテハウスに以前住んでおり、卒業後記者として働く)

実施方法:Webinar

申込者数:326名

SIIEJ2021 本大会

実施日時:8月26日・27日・10月23日(土)・11月20日(土)

➤ **基調講演:(第一部)「国際教育の本質的な価値・意義を問う」**

講師陣:

- ・ 渡邊誠 (千葉大学副学長 教育・国際担当)
- ・ 渡部カンコロンゴ清花 (NPO 法人 WELgee 代表理事)
- ・ 竹内上人 (マッケン・キャリアコンサルタント株式会社 代表取締役)

➤ **基調講演:(第二部)“Internationalization in Higher Education for Society”**

講師陣:

- ・ Elspeth Jones (Leeds Beckett University, UK)
- ・ Jeremy Breaden (Monash University, Australia)

実施方法: Webinar

申込者数: 336

➤ **Workshop A 「留学/VE/COIL のアウトカムの客観的測定」**

講師陣:

- ・ 西谷 元 (広島大学教授)
- ・ 村澤 昌崇 (広島大学高等教育研究開発センター)

実施方法: Webinar

申込者数: 42

➤ **Workshop B “Developing Intercultural Competence Using UNESCO Story Circles”**

講師陣:

- ・ Ms. Darla Deardorff (Duke University)
- ・ 実施方法: Webinar

申込者数: 32

➤ **Workshop C 「客観的測定の結果の活用: グッドプラクティスの紹介」**

講師陣:

- ・ 西谷元 (広島大学)
- ・ 東矢光代 (琉球大学)
- ・ 小早川裕子 (東洋大学)
- ・ 蒙韞(韞) (新潟大)
- ・ 吉田千春 (中央大学)
- ・ 中村絵里 (千葉大学)
- ・ 横井幸子 (大阪大学)
- ・ 中野遼子 (大阪大学)
- ・ エイミーウィルソン (山口県立大学)

実施方法: Webinar

申込者数: 63

➤ **Workshop D 「外国学歴評価の手法『中国の学歴・資格評価の実践と課題』」**

講師陣:

- ・ 白石勝己 (公益財団法人アジア学生文化協会)

- ・ 翁 文静 (九州大学, アドミッションセンター)
- ・ 李 明 (大阪大学 グローバルイニシアティブ機構)
- ・ 星明廣 (公益財団法人アジア学生文化協会 国際教育支援事業部)

実施方法: Webinar

申込者数: 18

➤ **Workshop E 「国際化は誰のために、何のために進めるのか？国際化評価指標から考える」**

講師陣:

- ・ 太田 浩 (一橋大学)
- ・ 渡部 由紀 (東北大学)

実施方法: Webinar

申込者数: 24

➤ **Workshop F 「ポストコロナ期で活用する COIL 型教育実践—新しい国際教育のために—」**

講師陣:

- ・ 池田佳子 (関西大学国際部教授)
- ・ Don Bysouth (関西大学)
- ・ Sajjad Pouromid (関西大学)
- ・ Jiun-Yan Wu (関西大学)

実施方法: Webinar

申込者数: 52

➤ **Workshop G 「国際寮の拡充に向けた協働体制づくり そのチャレンジと可能性」**

講師陣:

- ・ 阿部仁 (一橋大学 国際委教育交流センター 准教授)
- ・ 植松希世子 (横浜国立大学 国際戦略推進機構 特任助教)
- ・ 北澤泰子 (麗澤大学 教務・教育企画室 主任)

実施方法: Webinar

申込者数: 21

➤ **Workshop H “Principles and Practices for Enhancing Intercultural and International Experiences in COIL Courses”**

講師陣:

- ・ Keiko IKEDA (Kansai University)
- ・ Elvita WIAHSI (Kansai University)
- ・ Sajjad POUROMID (Kansai University)

- ・ Don BYSOUTH (Kansai University)
- ・ Jiuyan WU (Kansai University)

実施方法: Webinar

申込者数: 26

➤ **Workshop I 「内なる多様性に気づき慈しむ体験型ワークショップ」**

講師陣:

- ・ 平井達也(立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター 教授)
- ・ 高木ひとみ(名古屋大学 国際教育交流センター 特任准教授)

実施方法: Webinar

申込者数: 14

➤ **Workshop J 「「国際共修」で新時代を切り拓こう」**

講師陣:

- ・ 末松和子(東北大学 教授)
- ・ 北出慶子(立命館大学 教授)
- ・ 村田晶子(法政大学 教授)
- ・ 尾中夏美(岩手大学 教授)
- ・ 黒田千晴(神戸大学 准教授)
- ・ 水松巳奈(東洋大学 講師)
- ・ 渡部留美(東北大学 准教授)

実施方法: Webinar

申込者数: 31

➤ **Session C 「これからの国際交流と大学職員」**

講師陣:

- ・ 赤松茂利 (早稲田大学 国際部国際課)
- ・ 石山昭彦 (國學院大學 国際交流事務部)
- ・ 宮澤文玄 (学習院大学 学長室)

実施方法: Webinar

申込者数: 39

➤ **Session D 「留学生 30 万人計画のレビューとポスト 30 万人の展望と課題」**

講師陣:

- ・ 太田 浩(一橋大学 教授)
- ・ 二子石 優(一橋大学 博士後期課程)

実施方法: Webinar

申込者数: 34

➤ **Session E “SDGs, Strategic Planning and Sustainable Partnerships: Lesson Learned in the UMAP Consortium”**

講師陣:

- ・ Chelsey Laird (Director, UMAP International Secretariat, Vancouver Community College, Canada)
- ・ Abdul Latiff Ahmad (Associate Professor, Director of UKM Global (International Relations Centre), Universiti Kebangsaan Malaysia)

実施方法: Webinar

申込者数: 25

➤ **Session F “Envision, Design, Invent: Alternatives and Preferred Futures of Global Experiences in 2050”**

講師陣:

- ・ Brian Masshardt (Musashi University)

実施方法: Webinar

申込者数: 22

➤ **Session G “International Education: Why Globally Minded Japanese Students Don't Choose Japanese Universities”**

講師陣:

- ・ Rab Paterson (Center for Global Education & Exchange, Toyo University)
- ・ Mayuko Kubo (Undergraduate student at the Faculty of Arts and Social Sciences, University of Sydney)
- ・ Tohi Kim (Undergraduate student in the Department of Political Science and International Studies, Yonsei University)

実施方法: Webinar

申込者数: 26

➤ **Session H “Fostering and Developing the Next Generation of Entrepreneurs in the ‘Post-Covid’ Context”**

講師陣:

- ・ Steve Sakanashi (Sekai Creator, Founder)
- ・ Joshua Flannery (CEO, Innovation Dojo Japan & Advisor, Rainmaking Innovation)

Japan)

- ・ Daniel Smith (Innovation Program Lead, Sydney School of Entrepreneurship)

実施方法: Webinar

申込者数: 23

➤ **Session I 「英語で入学した留学生のキャリアサポートへの挑戦」**

講師陣:

- ・ 飯田友希(一般社団法人日本国際化推進協会・留学生サポート部 部長)
- ・ 河瀬恵子(横浜市立大学・留学生就職支援コーディネーター)
- ・ 片垣麻理子(北海道大学・人材育成本部 特任助教)

実施方法: Webinar

申込者数: 91

➤ **Session J 「大学とパートナー団体との“外部連携”の実態と選択肢を知る」**

講師陣:

- ・ 山本稚子(東洋大学 国際部国際課主任)
- ・ 西島達也(株式会社 JTB 教育第一事業部 営業第一課 高等教育事業担当)
- ・ 藤本実千代(米国非営利教育機関 SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局 マネージャー)

実施方法: Webinar

申込者数: 59

➤ **Session K 「海外体験を経験・学びに変える事前事後研修とは何か」**

講師陣:

- ・ 鈴木大樹(一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)シニア・ダイバーシティ・ファシリテーター)
- ・ 辰野まどか(一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)代表理事)

実施方法: Webinar

申込者数: 97

➤ **Session L 「留学生就職支援における新しい展開と価値の創造—東洋大学におけるオンラインプログラムの事例から」**

講師陣:

- ・ 高橋一男(東洋大学副学長 国際教育センター長 国際地域学部教授)
- ・ 牛窪隆太(東洋大学国際教育センター准教授)
- ・ 陳秀茵(東洋大学国際教育センター講師)

- ・ 黄貞淵(東洋大学国際教育センター助教)
- ・ 山田達也(株式会社イトラスト)

実施方法:Webinar

申込者数:61

➤ **Session M 「国際教育交流におけるリスク・コミュニケーション」**

講師陣:

- ・ 辻田歩(大学教育における「海外体験学習」研究会 運営委員)
- ・ 齋藤百合子(大東文化大学 国際関係学部 特任教授・大学教育における「海外体験学習」研究会 運営委員)

実施方法:Webinar

申込者数:59

IV. ホームページの改訂

プロジェクトのホームページ(<http://gccpj.recsie.or.jp/>)を公開し、適宜、改訂した。内部研究会の成果報告書の掲載や英語版ページの拡充、事務局スタッフ・インターン紹介ページを新設した。

以上